

わがまち紹介

巨大な物流

ターミナルのまち

関西ゲートウェイ見学

梅雨入り前の蒸し暑い6月14日、JR茨木駅に集合し、駅前からバスで茨木市中央図書館前まで行き下車しました。

中央図書館の前は、以前松下電器産業の工場でした。今は全然変わったまちの風景になっています。でも町名は松下町で変わっていません。

茨木市松下町

財政再建が急務だった昭和28年、市長が熱心に松下電器産業を誘致し、昭和33年に白黒テレビの生産を開始しました。

ナショナルテレビの発祥の地となった。自治体による企業誘致モデルケースによって「松下町」に改められました。

この茨木工場は、有名なイギリスのチャールズ皇太子、ダイアナ妃や中国の鄧小平が工場を視察された。各国の要人も視察に来られたようです。

プラズマディスプレイの生産を行ったが、リーマンショックや時

代の流れに勝てず平成28年に55年の歴史に幕を下した。

工場跡地は、大和ハウス工業に売却され、工場建物は竹中工務店により解体、敷地の北側約半分に平成27年12月にB2型施設（デベロップ）が特定のテナントのニーズに応じて建設し、原則として棟全体を一つのテナントに賃貸するもの）として関西ゲートウェイを着工した。

平成29年10月に開所式が行われ、同年11月より本格稼働を開始した。

その後、新たに、12万平方メートルの土地はヤマト運輸ターミナルとネット通販のアマゾンの物流倉庫に変わりました。

パナソニック茨木工場の跡地からは、弥生時代から平安時代にかけての遺跡である郡遺跡と倍賀遺跡が出土し広く紹介されています。

※高槻市では昭和29年「松下電子工業」の「高槻工場」が完成し、松下幸之助の幸を頂いて町名幸町になっています。

関西ゲートウェイ

関西ゲートウェイの20名以下の見学は、インターネットで予約できます。私たちは10時からの見学を予約しました。



関西ゲートウェイの表ターミナル

関西ゲートウェイのスタッフ大瀬さん・石津さんが丁寧に説明して下さいました。しかし、受付の部屋より中は、写真撮影一切禁止で写真は撮れませんでした。

見学者ホールで説明を受けていると、時々地震の様な小さな揺れが有りました。説明ではこのホールの下を運搬車両が出入りする時の振動とのこと。重い車両が通るのだろうと思います。



スーパーフルトレーラ 25

関西ゲートウェイは、茨木ICに近く、大阪国際空港・関西国際空港・大阪港・神戸港などあらゆる輸送モードに対応できる立地にあります。敷地約6万平方メートル6階建て、延床9万平方メートルの規模です。

大消費地圏に配置した、厚木ゲートウェイ、中部ゲートウェイとの多頻度幹線輸送により、関東・中部・関西の国内主要都市間をスピーディーかつ高効率な輸送ネットワークで結びます。

ゲートウェイ間の折り返し運行による運行時間の短縮や、ヤマトグループ各社のネットワークの全体最適を通じて、運行ドライバーの「働き方改革」を進められています。



関西ゲートウェイ見学後の記念写

ヤマト運輸他、グループ会社11社が入居し、医療機器の洗浄・メンテナンス、家電の修理といった付加価値機能と、24時間稼働の最新鋭マテハン設備、航空便などの各輸送モードが連携すること、企業物流に新たなスピードと付加価値を提供している。

2019年8月度行事予定

お金について学べる施設のあるまち：尼崎
尼信会館と世界の貯金箱博物館見学

日：2019年8月8日（木）
集合：阪神尼崎駅改札出口 集合
内容：尼信会館・世界の貯金箱博物館見学
その他：1) 雨天決行
2) 詳細は別途配布資料をご参照下さい。

2019年7月度行事予定

スポーツや自然に親しめる公園：長居公園
大阪市立自然博物館見学

日：2019年7月4日（木）
集合：大阪メトロ御堂筋線長居駅南改札出口
内容：大阪市立自然博物館見学
その他：1) 雨天決行
2) 詳細は別途配布資料をご参照下さい。